

第3回セミナー かたってみよう！ まちづくり

@熊本日日新聞社・本館2階ホールおよび本社周辺

「くまにち すばいす」で隔週掲載中の「まちづくり探検隊」の紙面を通じて地域活動やまちづくりに興味を持った方を対象に開催しているセミナー「かたってみよう！ まちづくり」。第3回は、災害時に注意すべき地域の危険箇所をフィールドワークでチェックし、それを地域版ハザードマップに落とし込む体験を行いました。



ハザードマップ作成後に感想を発表する大学生



フィールドワークではメンバー同士が協力し合って危険箇所をチェック！



考えよう！
身近な防災
Part.2

地域を歩いてハザードマップを作ってみよう！

12 月1日、熊本日日新聞社・本館2階ホールで開催した第3回セミナー。前回のセミナーでは、「考えよう！身近な防災」と題して、実際に地域で行われている防災の取り組みの事例発表を聞き、災害時に役立つ地域版ハザードマップの作り方を学びました。

今回は、「実践編」という位置付け。「地域にはどんな危険箇所があるのか？」被災した時に役立つ場所は？」などの疑問点について、実際に歩いて確認するフィールドワークの後、そこで得た情報を地図に落とし込み地域防災に役立てるハザードマップを作成しました。

実践的な内容が好評
マップ作成に多世代が協力
地域版ハザードマップ作成では、「どうすれば実際の災害時に役立つものになるか」という視点で、地域の細かな情報まで書き込みました。今回は、「いかに地域で防災に取り組むか」ということを、より実践的に学べる内容とあって、前回は上回る人数が参加。第1回から毎回参加している方やまちづくりに興味のある大学生など、「防災」というキーワードを通して集まった幅広い世代が互いに協力し、話し合いながら



毎回参加している方も多く、まちづくりに対する関心の差を向わせず

マップを作る中で、「地域のつながりを強くすることが災害に強いまちづくりにもつながるとの気づきを得たようです。」



まち歩きを通して、見えていなかった地域のことを知るきっかけに

日常の暮らしの中には、見えているようで見えていないものが多いものです。このことに気付くことから、地域で暮らすことの第一歩が始まります。第3回セミナーの「防災」をテーマにしたまち歩きと地域版ハザードマップの作成を通して、私たちの暮らしを守る「見えない地域活動」について、多くの人に気付いてもらうきっかけになったのではないかと思います。

講師・ファシリテーター 水野直樹さん(スタディライブ熊本理事)



まずは自分の住んでいる「まち」に関心を持つことが大事！

今回、初めてフィールドワークを行いました。室内での座学と異なる実践的な内容で、参加した皆さんはとても満足した様子でした。ある程度危険を予想していた場所が、実際に足を運ぶと想像以上であるなど、改めてハザードマップの必要性和、現地を歩いて自分の目で確認することの大切さを痛感しました。「防災」という目標で地域を歩くことはもちろん、自分が住んでいる「まち」に興味や関心を持つことも、防災の第一歩なんだなと感じたセミナーでした。

司会 荒木直美さん(タレント、まちづくりコーディネーター)



地域版ハザードマップ作りは私たちが教えました！



自分の住む地域でも、ぜひやってみてくださいね

災害の種類によっても危険箇所は変わりますよ！

南区役所 総務企画課 松田和博さん

中央区役所 総務企画課 佐藤立彦さん

中央区役所 総務企画課 志方修三さん

西区役所 総務企画課 下田秀幸さん

「まちづくり探検隊」は、すばいすウェブサイトでも見られます。ご感想や意見はウェブのフォームから受け付け中！ ウェブページへのアクセスはコチラ！

